

### 第3章 結核・エイズ・感染症 (保健所健康づくり課・こども健康課)

結核は、結核予防のため健康診断、医療費の一部公費負担制度、家庭訪問などを行っている。

エイズは、感染を防止するために市民に対して正しい知識の普及、相談指導及び血液検査などを行っている。

感染症は、感染症患者発生時の対応としては、発生と同時に患者の入院等、発生源の消毒、感染源の究明等、その対策には万全を期し蔓延を最小限に止める対応などを行っている。

#### 1 結核登録者

平成25年中の新規登録患者数は96人、経過観察中の者も含めた平成25年末の登録者数は276人であり、罹患率は14.4%となっている。

表3-42 登録患者状況(潜在性結核を含む) (人)

区分	各前年 12月末 現在数	各年1月～12月 新規登録患者数			各年1月～12月 除外者数					各年 12月末 登録者数
		新規	転入	計	死亡	治癒	転出	その他	計	
平成21年	178	80	6	86	(5) 20	51	10	7	88	176
平成22年	176	81	4	85	(8) 22	33	4	15	74	187
平成23年	187	128	2	130	(7) 23	44	9	8	84	233
平成24年	233	117	3	120	(0) 16	29	9	20	74	279
平成25年	279	96	1	97	(7) 20	52	5	23	100	276

※( )内は結核による死亡数再掲

(保健所健康づくり課)

表3-43 新規登録患者の疾病分類 (人)

肺結核	肺外結核	小計	潜在性結核	合計
46	13	59	37	96

(保健所健康づくり課)

結核の医療を受ける者は、感染症法の規定による申請を行うことにより、医療費の公費負担を受けることができる。

表3-44 入院勧告患者公費負担(37条) (件)

項目	各前年度末現在	各年度中新規承認	各年度中解除・取消	各年度末現在
平成21年度	4	19(32)	20	3
平成22年度	3	18(40)	19	2
平成23年度	2	28(47)	26	4
平成24年度	4	25(41)	22	7
平成25年度	7	22(53)	28	1

※( )内は継続承認数

(保健所健康づくり課)

表3-45 結核患者保険別承認状況(37条の2)

(件)

保険種別	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	被用者保険		国民健康保険			後期高齢者	生活保護	その他
						本人	家族	一般	退職本人	退職家族			
申請	139	119	175	163	134	29	17	26	-	-	52	7	3
合格	139	119	175	162	133	29	17	26	-	-	51	7	3
承認	139	119	175	162	133	29	17	26	-	-	51	7	3

(保健所健康づくり課)

## 2 結核予防

BCG接種は、主として生後6カ月までの乳幼児を対象に実施している。健康診断の受診率はまだ十分でなく、受診率の向上が今後の課題である。

表3-46 定期及び定期外の健康診断・予防接種

(件)

区分	定期					定期外			計	ツ反再検(再掲)
	事業者	学校長	施設の長	市長		管理検診	接触者	乳幼児		
				乳幼児	その他					
ツベルクリン反応検査者陽性者数	被注射者数						1		1	-
	被判定者数						1		1	-
	陰性者数						1		1	-
	陽性者数						-		-	-
BCG接種者数*				2,272					2,272	
間接撮影者数	4,415	4,110	672						9,197	
直接撮影者数	7,332	591	1,843		18,874	227	177		29,044	
かくたん検査者数	208	-	292			-	-		500	
I G R 検査	38	-	-				183		221	
被発見者数	結核患者	-	-	-		-	1		1	
	L T B I	-	-	-		-	17		17	
	発病のおそれがあると診断された者	-	-	-		-	9		9	

(保健所健康づくり課・\*はこども健康課)

## 3 エイズ相談事業

エイズ相談は、昭和61年4月21日から、エイズ抗体検査は、昭和62年2月10日から実施している。エイズ相談専用電話は、平成6年度に設置した。夜間エイズ検査は、平成7年度から実施している。

表3-47 エイズ相談事業実施状況

(件)

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
相談	486	404	324	284	266
抗体検査	319	344	250	251	231

(保健所健康づくり課)

#### 4 エイズ健康教育

表3-48 エイズ健康教育実施状況

(回)または(人)

区 分		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
地域依頼	開催回数	20	15	-	-	2
	参加人数	4,254	3,097	-	-	406
事例検討会	開催回数	1	-	-	-	1
	参加人数	37	-	-	-	60
講演会	開催回数	1	1	1	-	1
	参加人数	25	37	36	-	20

(保健所健康づくり課)

#### 5 防疫活動

表3-49 平成 25 年度 感染症患者発生状況(結核を除く)

(件)

区 分	1類感染症							2類感染症(結核を除く)				3類感染症				
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルク病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	鳥インフルエンザ(H5N1)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
届出数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-
検査数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	27	-	-
陽性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-
陰性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	19	-	-
入院者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
患者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
擬似症患者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
入院日数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
患者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
擬似症患者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分	4類感染症																					
	E型肝炎	ウエストナイル熱	A型肝炎	エキノコックス症	黄熱	オウム病	オムスク出血熱	回帰熱	キヤサヌル森林病	Q熱	狂犬病	コクシジオイデス症	サル痘	腎症候性出血熱	西部ウマ脳炎	ダニ媒介脳炎	炭疽	つつが虫病	デング熱	東部ウマ脳炎	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)	
届出数	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分	4類感染症																				
	ニパウイルス感染症	日本紅斑熱	日本脳炎	ハンタウイルス肺症候群	Bウイルス病	鼻疽	ブルセラ症	ベネズエラウマ脳炎	ヘンドラウイルス感染症	発しんチフス	ポツリヌス症	マフリア	野兔病	ライム病	リッサウイルス感染症	リフトバレー熱	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	ロッキー山紅斑熱	チクングニア熱
届出数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-

区分	5類感染症																新型インフルエンザ等感染症			
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎(E・A型を除く)	急性脳炎 <small>(ウエストナイル脳炎・西部ウマ脳炎・ダニ媒介脳炎・東部ウマ脳炎・日本脳炎・ベネズエラウマ脳炎・リフトバレー熱を除く)</small>	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	新型インフルエンザ	再興型インフルエンザ
届出数	3	1	2	-	-	1	4	-	-	1	16	-	6	-	-	1	63	2	-	-

※新型インフルエンザの発生報告は、H21.7.24 から全数把握ではなくなった。

区分	5類感染症(定点)													
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口症	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	インフルエンザ <small>(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)</small>	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
届出数	167	134	261	2,026	455	547	40	242	1	371	99	3,549	4	353

区分	5類感染症(定点)											(注)疑似症		
	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	細菌性髄膜炎	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	マイコプラズマ肺炎	無菌性髄膜炎	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	薬剤耐性アシネトバクター感染症	摂氏三八度以上の発熱及び呼吸器症状 (明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く)	発熱及び発しん又は水疱
届出数	38	24	9	35	-	-	-	9	-	15	-	-	-	-

(保健所健康づくり課)

注)疑似症:感染症法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症

※無料検便検査の統計は、健康安全科学センター部分にて参照

表3-50 感染症講習会等開催状況 (回)または(人)

感染症対策委員会	開催回数	1
	参加人数	7
感染症診査協議会 (感染症)	開催回数	-
	参加人数	-
感染症診査協議会 (結核)	開催回数	24
	参加人数	113
感染症予防講習会	開催回数	2
	参加人数	133
インフルエンザ・ノロウイルス等衛生教育	開催回数	11
	参加人数	444
エイズ・性感染症等衛生教育	開催回数	2
	参加人数	406

(保健所健康づくり課)

## 6 予 防 接 種

予防接種法に基づき予防接種を実施している。ポリオは健康福祉センター他で集団接種により、行われていたが、平成24年9月1日より単独不活化ポリオに切り替わり、委託医療機関で接種を行うことになった。また、平成24年11月1日より三種混合に不活化ポリオ成分を加えた四種混合が開始となり、三種混合・ジフテリア2期・麻しん風しん混合・麻しん・風しん・日本脳炎・高齢者インフルエンザと同様に委託医療機関で個別接種を行っている。

表3-51 乳幼児経口生ポリオワクチン

(人)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年8月迄	平成25年度
対象者数	6,456	6,222	6,220	2,579	-
接種者数	6,394	5,927	4,771	1,809	-
第 1 回	3,413	2,934	2,360	543	-
第 2 回	2,981	2,993	2,411	1,266	-

(こども健康課)

【参考】成人ポリオ 昭和50年～52年生 ー任意接種ー

(人)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年8月迄	平成25年度
接種者数	328	251	177	35	-

(こども健康課)

表3-52 単独不活化ポリオワクチン(平成24年9月より開始)

(人)

区 分	1回目	2回目	3回目	追加	計
接種者数	194	617	888	1,787	3,486
対象者数	-	-	-	-	-

(こども健康課)

表3-53 二種混合・三種混合・四種混合(平成24年11月より開始)

(人)

区 分	二種混合 (ジフテリア、破傷風)	三種混合 (ジフテリア、百日せき、破傷風)					四種混合 (ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ)				
	第2期	第1期					第1期				
	11・12歳	初回接種			追加	計	初回接種			追加	計
		1回	2回	3回			1回	2回	3回		
接種者数	2,443	39	101	206	2,572	2,918	3,065	3,039	2,924	292	9,320
対象者数	3,818	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12,920

(こども健康課)

表3-54 日本脳炎

(人)

区 分	日本脳炎					
	第 1 期			追加	第 2 期	計
	初回1回目	初回2回目	追加			
接種者数	2,941	2,978	4,254		1,023	11,196
対象者数	-	-	-		-	-

※平成25年4月20日、日本脳炎第1期個人票を3歳児あて3,094通郵送した。

(こども健康課)

表3-55 麻しん、風しん、混合(MR) (人)

区 分		第1期	第2期	計
麻しん風しん 混合(MR)	接種者数	2,717	2,891	5,608
	対象者数	2,857	3,399	6,256
(単独)麻しん	接種者数	1	0	1
	対象者数	-	-	-
(単独)風しん	接種者数	1	2	3
	対象者数	-	-	-
計	接種者数	2,719	2,893	5,612
	対象者数	2,857	3,399	6,256

(こども健康課)

予防接種法によらない任意接種として、三種のワクチンを平成 23 年度から接種を開始し、平成 25 年度からは、定期接種となった。

ワクチンの種類(ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防)

表3-56 ヒブ・小児用肺炎球菌 (人)

年(月)齢	ヒブ		小児用肺炎球菌	
	接種者数	左欄のうち 1回目接種者数	接種者数	左欄のうち 1回目接種者数
2か月～7か月未満	7,382	2,605	7,239	2,581
7か月～12か月未満	579	67	699	88
1 歳	2,443	67	2,311	58
2 歳	355	59	239	78
3 歳	110	69	111	89
4 歳	67	61	87	84
計	10,936	2,928	10,686	2,978

(こども健康課)

表3-57 子宮頸がん予防 (人)

学 齢	接種者数	左欄のうち 1回目接種者数	対象者数
小 6	5	3	-
中 1	550	324	1,868
中 2	110	10	-
中 3	13	3	-
高 1	7	2	-
高 2	-	-	-
計	685	342	1,868

※対象者数は、予防接種個人票(通知)を発送した人数 (こども健康課)

※平成 25 年 6 月 14 日付厚生労働省健康局通知により、ワクチンとの因果関係を否定できない持続的な疼痛が、接種後特異的に見られることから、同副反応の発生頻度等がより明らかになり、国民に適切な情報提供ができるまでの間、定期接種の積極的勧奨を差し控える旨、勧告を受けた。

表3-58 高齢者インフルエンザ

(人)

区 分	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
接種者数	45,245	52,274	50,226	50,510	52,288

(保健所健康づくり課)

平成 25 年度から、主に先天性風しん症候群対策として、予防接種法によらない任意接種として、風しんワクチン(麻しん風しん混合(MR)ワクチンを含む)の接種を開始した。

表3-59 風しんー任意接種ー

(人)

区 分	平成 25 年度
接種者数	2,051

(保健所健康づくり課)